



2021年8月23日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー
 代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫
 (コード番号：7590)
 問合せ先 常務執行役員
 経営管理本部副本部長 井上 淳
 (電話：073-482-4128)

2022年1月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正並びに期末配当予想(増配)の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2022年1月期第2四半期連結業績予想及び2021年3月3日に公表いたしました通期連結業績予想並びに期末配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、2022年1月期第2四半期連結業績予想は公表しておりませんでした。前期実績に比べ大幅な増収増益となる見込のため、公表することと致しました。

記

1. 業績予想の修正について

2022年1月期第2四半期連結業績予想数値(2021年1月21日～2021年7月20日：累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前期実績(A)	9,706	816	754	535	36 74
今回予想(B)	11,270	1,163	1,227	865	59 34
増減額(B-A)	1,564	347	473	330	—
増減率(%)	16.1	42.5	62.7	61.7	—

2022年1月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月21日～2022年1月20日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	19,680	1,195	1,190	900	61 74
今回修正予想(B)	20,350	1,506	1,452	1,100	75 45
増減額(B-A)	670	311	262	200	—
増減率(%)	3.4	26.0	22.0	22.2	—
(ご参考)前期実績 (2021年1月期)	18,486	1,156	1,152	952	65 36

(修正の理由)

今まで投資してまいりました、プロユース事業部におけるDX化による販促活動の強化ならびに生産工場およびショールームの拡充、また空間パッケージ型新商品の市場投入の効果が出てきていることや、ホームユース事業部における中国生産工場の本格稼働からのグローバル展開の促進、ガーデニング需要の持続に伴い売上高が前回発表予想を上回る見込みです。

営業利益においては、原材料および海上運賃が高騰するなか、自社製品の販売比率増加、e-コマース分野の売上増加に伴い粗利率が前年並みで推移し、販管費においては計画通りに推移すると見込んでいることから前回発表予想を上回る見込みです。経常利益および親会社株式に帰属する当期純利益においては、外貨建て取引における為替評価差額が見込みより増加することから前回発表予想を上回る見込みです。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想につきまして、上記の通り修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年3月3日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00
今回修正予想	—	—	—	23.00	23.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2020年1月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

本日発表いたしました業績予想の修正を踏まえ、当社の財政状態および当社では配当性向30%を目標としていることから、当期の年間配当予想につきまして前回予想の20円から3円増額し、1株当たり23円に修正することといたしました。

なお、経済動向の先行きが極めて不透明な状況ではありますが、当社といたしましては、収益力の向上や財務健全性、配当性向等も勘案しつつ、株主の皆様への利益還元についても十分な配慮を行う方針であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上